



## 3WDキット

リールマスター® 3105-D 及びグランドマスター® 3505-D トラクションユニット用

モデル番号 03229

## 取り付け手順書

### マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. PTO (装備されている場合) を解除し、カッティングユニットを下げる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機械各部の動きが完全に停止し、機体の温度が十分に下がるのを待つ。



#### 警告



高温の油圧オイルに触れると激しい火傷を負う。

油圧オイル関係の整備を行う時は、必ずオイルの温度が十分に冷えているのを確かめてから行うこと。

6. 油圧システム内部のすべての圧力を解放する。マシンのサービスマニュアルを参照。



#### 危険



高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- 油圧装置を作動させる前に、全部のラインコネクタが適切に接続されていること、およびラインやホースの状態が良好であることを確認すること。
- 油圧のピンホールリーフやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使用すること。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放すること。
- 万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受けること。

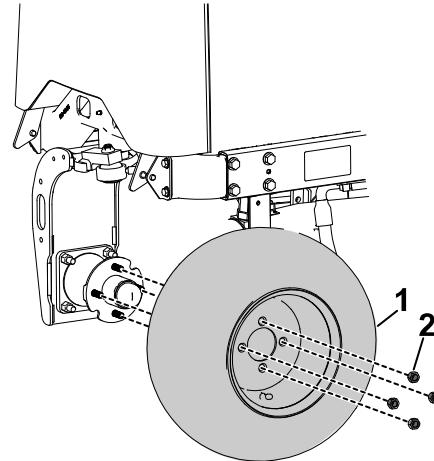
7. マシンからフードを取り外す。マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

# マシンの後部を持ち上げる

マシンの後部を持ち上げる。マシンのオペレーターズマニュアルまたはサービスマニュアルを参照。

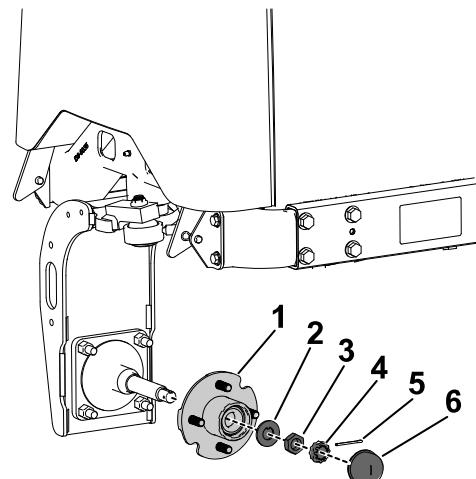
## リアホイールとハブアセンブリの取り外し

1. 4個のラグナット②□ホイール①をホイールハブアセンブリに固定している□を取り外して廃棄し、ホイールをマシンから取り外す。



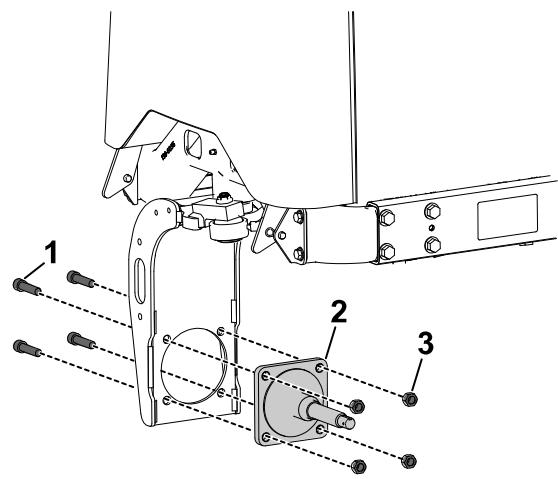
G494218

2. ダストキャップ⑥、コッターピン⑤、ナットリテナ④、ジャムナット③、タブワッシャー②、ホイールハブ①を取り外して廃棄する。



G494230

3. スピンドル②と対応する取り付けボルト①とナット③を取り外して廃棄する。



G494250

# 油圧モーター、ハブ、リアホイールの取り付け

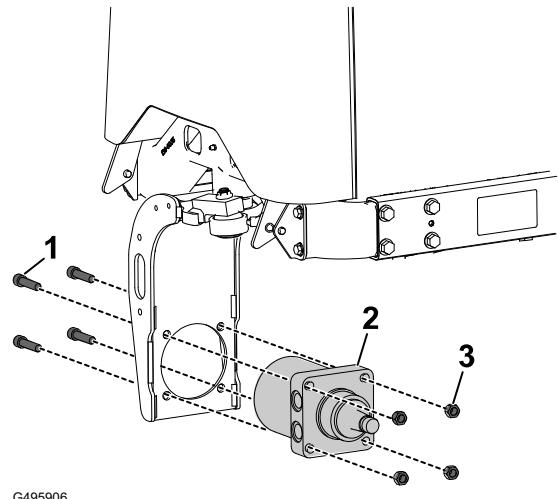
## 必要なパーツ

1	油圧モーターアセンブリ
2	油圧フィッティング
4	ボルト $\frac{1}{2} \times 2\frac{3}{4}$ "
4	ロックナット $\frac{1}{2}$ "
1	ホイールハブアセンブリ
4	ラグナット
1	ロックナット $1\frac{1}{2}$ "

1. 油圧モーターアセンブリ②をステアリングフォークに固定するキャリッジ ボルト ( $1/2 \times 2-3/4"$ ) 4本①とフランジ ロックナット ( $1/2"$ ) 4個③を使用する。



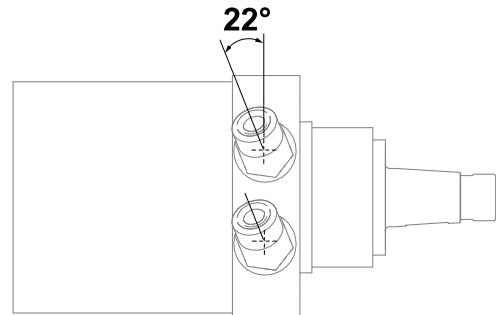
2. ボルトが回転しないようにレンチで押さえながら、ロックナットを  $70-84 \text{ N}\cdot\text{m} (52-62 \text{ ft-lb})$  にトルク締めする。



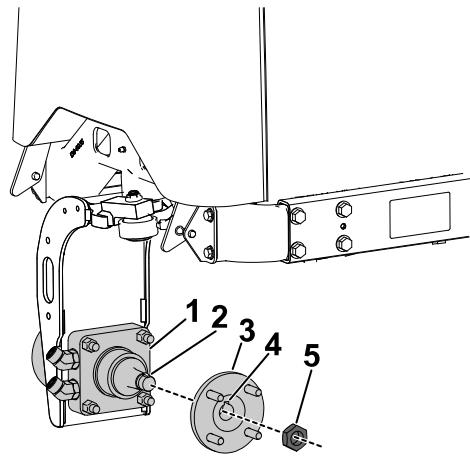
3. フィッティングのOリングにオイルを薄く塗布する。



4. 油圧フィッティング2個を油圧モータアセンブリに取り付ける。図のようにフィッティングの向きを調整する。各フィッティングを  $134 - 164 \text{ N}\cdot\text{m} (99-121 \text{ ft-lb})$  にトルク締めする。その際、フィッティングの角度が変わらないように、レンチで保持しておくこと。

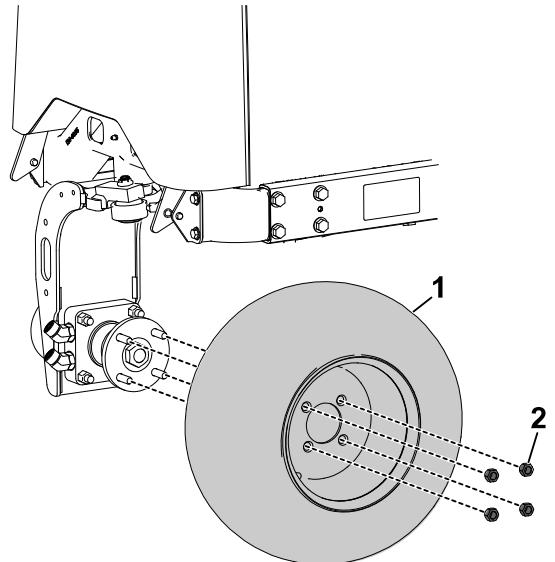


- ホイールハブ③を、油圧モーターーセンブリ①に取り付ける。ハブの溝④をモータのキー②に合わせて取り付けること。
- ⑤ハブ用ロックナット(1-1/2")を、ハブに軽く当たる程度に取り付ける。



G495908

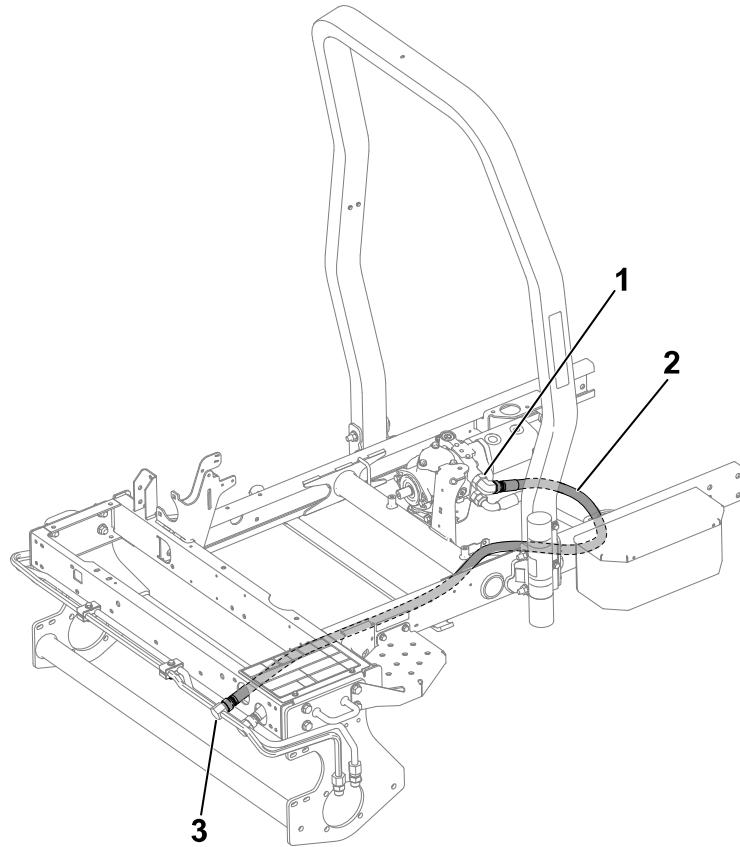
- 先ほど取り外したリアホイールアセンブリ①をホイールハブに取り付け、ラグナット②4個をホイールに軽く当たる程度に仮止めする。
- マシンを床面に下ろす。マシンが動かないように後輪に輪止めをかける。
- 対角線パターンでラグナットを61-136 N·m (45-65 ft-lb)にトルク締めする。
- ハブ用ロックナット(1-1/2")を 339 -373 N·m (250-275 ft-lb)にトルク締めする。



G494330

# 油圧ホースを取り外す

既存の上部油圧ホース②□ピストンポンプ①と上部フロント油圧チューブ③をつないでいる□を取り外して廃棄する。



G494354

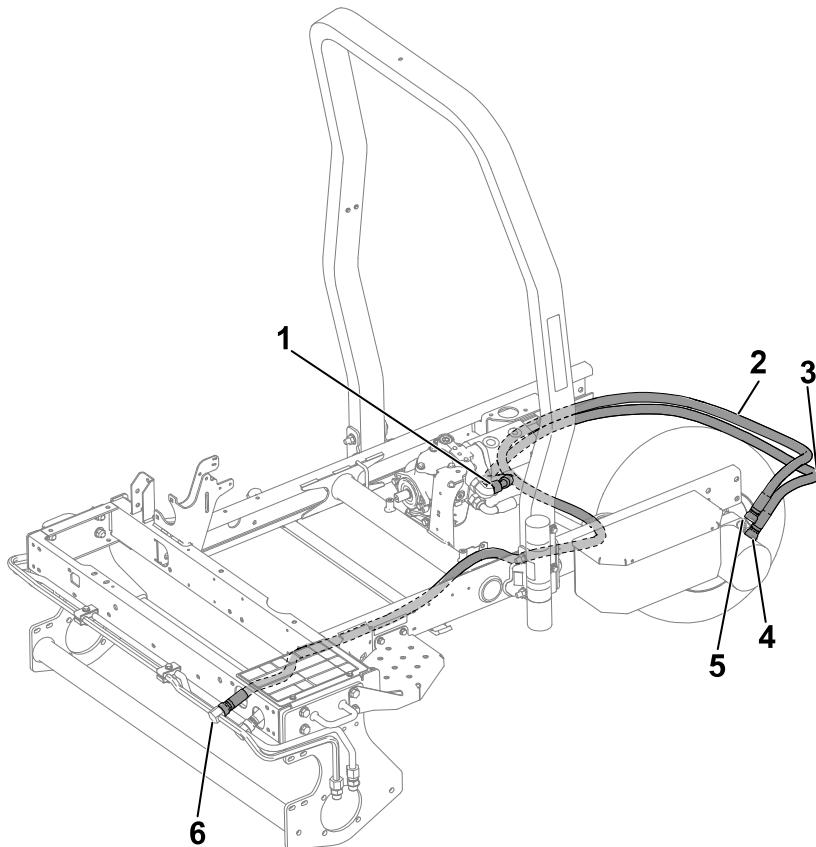
# 油圧ホースを取り付ける

## 必要なパーツ

1	油圧ホース(70")
1	油圧ホース(129")
2	クランプ
1	クランプケース
2	ボルト □ 16/2 x 3-5/4" □
2	ロックナット □ 5/16" □
6	ケーブルタイ

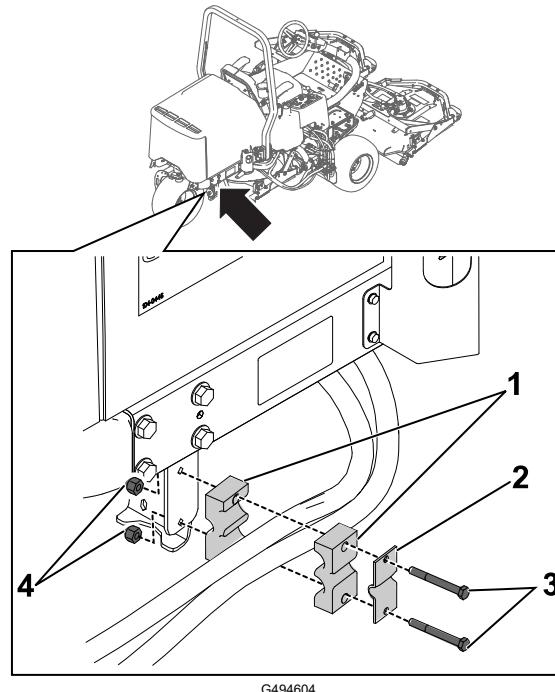
**注** 各ホースについて、正しいOリングが、油圧オイルで潤滑されて正しい位置に入っていることを確認してください。

1. 油圧ホース(70")の真っ直ぐな端部③を油圧モーターセンブリの下側の油圧フィッティング④に接続する。ホースのもう一方の端をピストンポンプ①のフィッティングに接続する。
2. 油圧ホース(129")②の一端を油圧モーターセンブリの上側フィッティング⑤に接続する。ホースのもう一方の端を前面上側の油圧チューブ⑥のフィッティングに接続する。



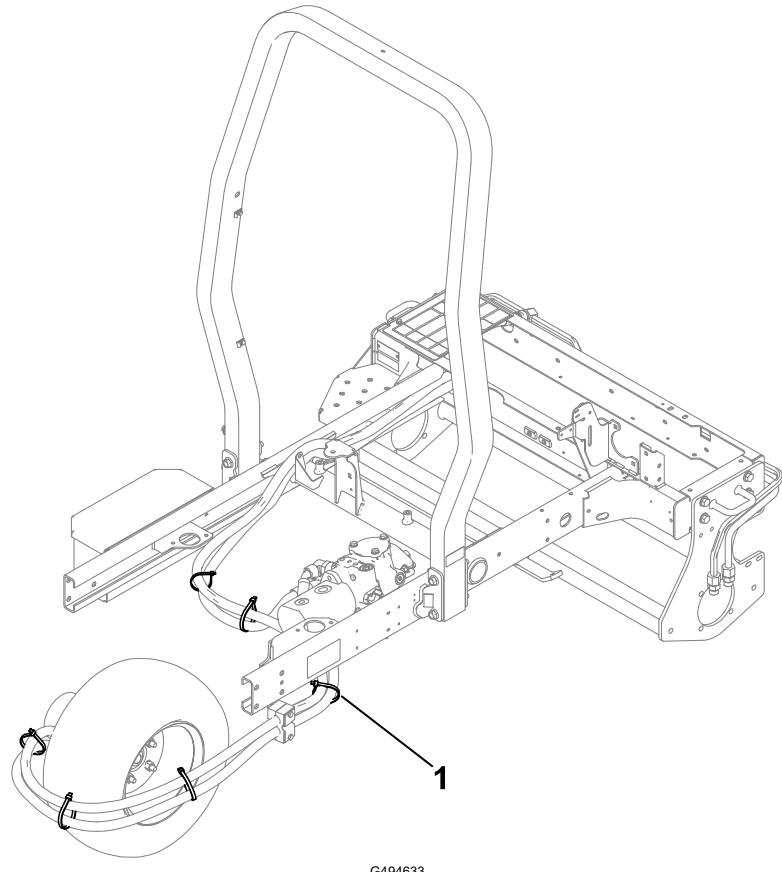
G494581

3. マシンのリアフレームのタブに、ホースクランプ①2個とクランプケース②を取り付ける□ボルト(5/16 x 2-3/4") 2本③とロックナット(5/16") 2個④を使用する。図のように油圧ホースをホースクランプで挟むこと。



G494604

4. ケーブルタイ①で油圧ホースを固定する。ケーブルタイは、図のように配置する。



G494633

